

第9回 科学の甲子園ジュニア

全国大会結果報告

全国大会

(分散開催)

■主催

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

■期日・会場

令和3年12月3日 (金)

福岡県中小企業振興センター

(福岡市博多区吉塚本町9番15号)

■出場チーム

各都道府県の代表47チーム (各チーム6人)

■日程

◆12月 3日 (金)

開会式 (オンライン)、筆記競技

◆1月17日 (月)

表彰式 (オンライン)

◆1月17日 (月) ~ 1月21日 (金)

オンライン交流

福岡県代表チーム

(九州国際大学付属中学校 大牟田中学校)



<分散開催による全国大会の実施>

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合開催ではなく、各都道府県が指定する会場で実施する分散開催の実施となりました。

◆筆記競技の様子

筆記競技では、物理、化学、生物、地学、数学、情報の6つの分野に対応した課題の解決に取り組みました。化学分野では、「水飲み鳥」と呼ばれる玩具を実際に操作し、水飲み鳥の動きを制御する方法と、その理由を考察する問題が出題されました。



今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ペアの学校のみならず事前にも会うことができず、Zoomで自己紹介などをした程度でした。しかし、本番では、思っていたより親しく接することができて大変嬉しかったです。僕は、チームワークが1番勝敗に関わってくると思います。絆だけは絶やさずに全国大会へ向けて全力で頑張ってください。【大牟田中学校：桑原 颯達さん】

全国大会に出場することができ、とても楽しかったです。ここまでたどり着くことが出来たのは、最高の仲間達との協力があったからです。この貴重な経験を生かし、これからも更なる高みを目指して、互いに切磋琢磨しあい、頑張っていきます。来年度、参加される皆さん、全国大会上位入賞を目指して、最後まで諦めず、全力で頑張ってください！応援しています。【大牟田中学校：菱木 依吹さん】

今年は、都道府県ごとに分かれての全国大会の実施となりました。全国の代表チームとの交流ができず残念でしたが、この大舞台に出場し、「仲間と協力して優勝を目指す」という百尺竿頭の体験ができて本当に幸せでした。来年度参加される皆さん、自分達に自信を持って、最後まで諦めない心を大切に優勝目指して頑張ってください。【大牟田中学校：高口 湧稀さん】

福岡県代表チームから、 来年度挑戦する友達へのメッセージ

高口さん 菱木さん 桑原さん 松越さん 平山さん 古野さん



大会では、ひらめきや頭の柔らかさも当然必要ですが、それよりもチームワークの良さが求められます。チームワークがよくなることで、より効率よく、そして何より楽しく競技に取り組むことができます。来年、大会に参加される皆さん、まずは準備を怠らず、失敗してもめげずに全国大会出場を目指して頑張ってください。【九州国際大学付属中学校：松越 奏太さん(チームキャプテン)】

全国大会では、今年度、事前課題が実施されなかったため、合同チームは、お互いのことをよく知らないまま本番を迎えました。しかし、大会当日、分からないところを相談し合いながら、様々な難問に取り組んでいくなかで、チームの絆を深めることができました。チームのみんなで協力すればきっと大丈夫。皆さんも是非、挑戦してみてください。【九州国際大学付属中学校：平山 雅博さん】

僕は2年連続で科学の甲子園ジュニア大会に挑戦しました。1年目は、地区大会で、チームのみならず連携がうまくとれず失敗してしまいました。今年のチームでは、その反省点を改善し、地区大会、県大会を勝ち上がることができました。1度や2度、失敗してしまっても大丈夫。あまり緊張せずにチャレンジしてみてください。【九州国際大学付属中学校：古野 栄太郎さん】

科学の甲子園ジュニアとは？

「科学の甲子園ジュニア」は、全国の中学生が科学と実生活のつながりに気付き、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場を提供することを目的として平成25年に創設された大会です。科学の知識だけでなく、創意工夫、チームワーク、技能を競い合い、全国の仲間と科学を楽しむことができるのが魅力です。全国の予選参加者は、27,000人以上で、今年度の全国大会には、分散開催の形式となりましたが、47都道府県から282人の生徒のみなさんが参加しました。次年度も「科学の甲子園ジュニア」大会が開催されます。多くのみなさんからの参加をお待ちしています。

地区大会、福岡県大会の結果

地区大会

■競技内容

理科・数学に関する筆記競技
チーム（3名）で90分間の筆記競技に
取り組みました。

■日時

令和3年7月25日（日）10:00～12:00

■会場と参加者

- 県内8会場で開催しました。
- 県内の166チーム(481名)の中学
1・2年生が参加しました。
- ※ 各地区大会で優勝した8チームとそれを除く
全体の上位4チームが県大会に出場しました。

<県大会出場チーム校>

- ・粕屋町立粕屋東中学校
- ・岡垣町立岡垣東中学校
- ・久留米大学附設中学校（2チーム）
- ・大牟田中学校
- ・福岡県立嘉穂高等学校附属中学校
- ・福岡県立育徳館中学校
- ・福岡大学附属大濠中学校
- ・九州国際大学附属中学校
- ・小倉日新館中学校
- ・西南女学院中学校
- ・福岡教育大学附属福岡中学校

福岡県大会

■競技内容

理科・数学に関する筆記競技及び実技競技
（「カプセルレシーブチャレンジ」）に
取り組みました。

■日時

令和3年9月18日（土）
11:00～15:45

■会場と参加者

- 福岡県中小企業振興センター
（福岡市博多区吉塚本町9番15号）
- 地区大会を勝ち抜いた12チーム（36名）



イメージライター

<県大会結果>

【優勝】

九州国際大学附属中学校
（写真左：前列）

【準優勝】

大牟田中学校
（写真左：後列）

【第3位】

福岡県立育徳館中学校
（写真右）

【第4位】

福岡大学附属大濠中学校

※ 優勝と準優勝の九州国際大学附属中学校・大牟田中学校が全国大会へ出場しました。

◆筆記競技

筆記競技では、ピタゴラス数について
の探求を行う数学分野の問題と、
プログラミングの考え方を活用して探求する
情報分野の問題に取り組みました。

◆実技競技

実技競技では、紙のみを使って構造物を
製作し、構造物の上におもりの入った
カプセルを投下するチャレンジを行い、
構造物が落下物を受け止められるかを
競いました。



代表校事前説明会

※ 本年度は、全国大会に向けてこれまで実施されていた事前課題（実技競技）が中止となり、全国大会が各県での実施となったため中止とさせていただきます。



来年度の挑戦は！

令和4年度は、地区大会：7月31日（日） 県大会：9月4日（日） 全国大会：12月2日（金）～4日（日）を予定しています。

本件に関する問合せ 福岡県教育庁教育振興部義務教育課

☎ 092-643-3910